

令和4年度の教育活動等に対する学校評価書

令和5年 5月10日

学校法人島田中央学園 認定こども園伊久身幼稚園長
学校法人島田中央学園認定こども園伊久身幼稚園学校関係者評価委員長

西野 正枝
清水 貢

- 1 幼稚園の教育目標 「元気に遊ぶ子」
- 2 本年度の重点目標（目指す姿）
- ・自分で考えのびのび表現できる子
 - ・だれとでも遊び、思いやりのある子
 - ・夢中になり、力いっぱいがんばる子
 - ・良い生活習慣を身につけている子

3 幼稚園評価・保護者評価／自己評価

<評価基準> A：十分に成果があった B：成果があった C：少し成果があった D：成果がなかった

(1) 教育目標『元気に遊ぶ子』達成度評価

目指す姿	具体的なあらわれ	評価		自己評価	学校関係者評価		
		幼稚園	保護者				
知	自分で考え、のびのび表現できる子	自信を持って表現する	90	90	A	◎…よくできていること △…もう一歩伸ばしたい力 ◎人の話をよく聞くことと、自分の気持ちを言葉に出して伝えることを繰り返し伝えたことで、自信を持って話す力がついていた。言葉の大切さに気付いた。また、会話が活発になることで友達の幅も広がった。 ◎異年齢同士が関わって遊ぶ中で学年を超えた縦のつながりが本年度も充実していた。(異年齢保育) ◎コロナ禍の折り、園外保育がなかなか難しかったが、三密を避けることなどに考慮して時期を見て活動を活発にした。また、鉄棒や竹馬、跳び箱などへのチャレンジはぐ～んと高まった。(自分から積極的に取り組む姿があった。) ◎元気よく挨拶ができることで、人と人の繋がりを学んだ。 △遊んだ後の片づけが、園・家庭とも十分ではないので、物を管理する習慣をつけたい。	A
		人の話を聞ける	90	90	A		A
		自分の思いを言葉で伝える	90	90	A		A
		明るく表情豊かである	90	90	A		A
情	だれとでも遊び、思いやりのある子	友達と仲良くできる	90	90	A		A
		人の気持ちを考える	80	80	B		B
		優しい心を持つ	80	90	A		A
		動植物に関心が持てる	85	80	A		A
意	夢中になり、力いっぱいがんばる子	思い切り身体を動かして遊ぶ	90	90	A		A
		やり通そうとする	80	85	A		A
		自分から取り組む	85	85	A	A	
躰	良い生活習慣を身につけている子	あいさつができる	90	90	A	A	
		物を大切に使う	80	80	B	B	
		片づけができる	80	80	B	B	
		約束やルールを守る	90	90	A	A	
総合評価		86	87	A	A		

- ・コロナ禍の中で、コロナ感染情報の様子と対応しながら、少しずつ園の各行事を復活させる様に努力をした。(可能な範囲で)園外保育や夏祭りなど規模を縮小させながらできたことが、子ども達と保護者から大変喜ばれた。できないで終わるのではなくどの様な形で行えば安全なのかをよく考えて、少しでも多くの経験を子ども達と一緒に楽しく作っていききたい。
- ・コロナは、R5・5月より5類になり、マスク着用も各家庭や各園での判断となるが、まずは子ども達の健康第一と考えコロナは、決して普通の風邪ではないので引き続きコロナ感染の情報をしっかりと認知し、保育の幅を広げていく様に取り組んでいきたい。

(2) 教育活動・教育内容満足度評価

項目	内容	幼稚園職員	保護者	自己評価		学校関係者評価
				自己評価	考察	
保育計画・教育課程	年齢に応じた豊かな体験の場や行事などを設けている。	80	90	A	・教育目標『元気に遊ぶ子』を中核に、本園の教育課程を基本にし、「幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿」を目標にして、保育計画を進めた。また、少し課題のある子の対応など、教師間の連絡を密にし、幅のある対応で取り組むことができた。(インクルーシブ保育) また、2号保育(長時間保育)の子どもへの対応は常に教師間の連絡(チーム保育)を大切に行うことができた。 ・今年度も「コロナウイルス感染拡大防止」の為に他園・他校との交流が少なかった。情報の交流は、積極的に行った。	A
	子どもの興味、関心に基づく遊びや活動を工夫している。	85	90	A		A
	周回の田畑・山・野原などの自然を生かし、草花や虫に触れ合う自然体験や芋堀り、野菜作りなどの勤労生産体験を行っている。	80	85	A		A
	異学年の交流、島田中央幼稚園・みどり子ども園・伊久美小・神座小・川根小との交流、地区の方々との交流を取り入れる活動を行っている。	75	80	B		B
教育環境の構成	幼児が安全で心地よく過ごせる、清潔感のある環境を整えている。	90	90	A	・子ども達の柔軟な発想を大切に育てる為に「空を翔ぶ車を作ってみよう!」「AIの機械を作りたい!」などの要求に答えることができる様に空き箱の位置やマジックの場所・本棚の場所を変えた事で、製作意欲が高まった。 ・自然物の木の実や木片、木のツルなど巧みに利用して楽しめる子が増えた。 ・友達の作っている様子に興味を持ったり作り方を伝授しあったりの姿が増えた。	A
	幼児がそれぞれの興味や関心、能力に応じて、全身を使って伸び伸びと活動することができる環境を整えている。	90	90	A		A
	幼児の発想を柔軟に取り入れ、季節の変化や子どもの実態に配慮して装飾や掲示を考え、保育室の環境を整えている。	90	90	A		A
	遊びに必要な遊具や用具、素材などを質・数量を配慮して用意している。	80	90	A		A
表現力の育成	幼児が言葉で伝え合う場を、学年に応じて位置づけている。(当番活動・誕生会・行事など)	90	90	A	・当番活動・誕生会・発表会などを通じて自分の気持ちを言葉で伝える機会を多く設けたことで、友達の良いところを聞く力と話し合う力がついた。(語彙が増えた。) ・コロナ禍の折り、園児の活動に制限があり、親子遠足や各行事人数制限など縮小が大きかったが、園の蔵書を増やし、絵本貸し出し数も増やし表現力の育成に努めた。	A
	幼児が言葉で伝えたくなくなり、伝え合う喜びを味わったりするような心を動かす体験をもつことができるように配慮している。	90	90	A		A
	幼児がさまざまな表現を楽しみ、表現する意欲を十分に発揮させることができるような環境を整えている。	90	90	A		A
子供理解・生活指導	子どもの話をよく聞き、気持ちに共感したり、一緒に遊んだりしている。	90	90	A	・子どもひとりひとりの良さに気付くことができる様に教師間の連携を密にして、お互いにアドバイスができる様にした。担任の目だけでなく複数の保育教諭の目で見ることにより、クラス経営にもヒントが生まれることがわかった。(オープンな保育) ・同年齢が少人数なので、子どもの中に自然と順位が生まれる場合が起こる。ひとりひとりが大切なひとりであることを伝え認め合いあたたかい学級経営を目指した。	A
	子どもひとりひとりの良さを認めるようにしている。	90	95	A		A
	子ども同士の関わりの姿をとらえ、トラブルに対して適切に対応している。	85	85	A		A
	子どもの心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、関わり方はしていない。	95	95	A		A
	問題が起きたときには、専門家の意見なども取り入れ、家庭との連絡を密にして、理解と協力を得て適切に対処している。	90	95	A		A
健康・安全	計画的な避難訓練や安全点検を行い、園児の安全管理に努めている。	90	90	A	・予告なしの避難訓練を増やした。子ども達は落ち着いて行動ができた。 おはしも の約束が子ども達に浸透している。(安全な場所も理解)放送で知らせから、約2分15秒で避難完了できた。(11月・1月) ・幼児の健康診断・身体測定など定期的に行い健康管理に努めている。朝の検温・うがい・手洗い・保育室の換気は引き続き注意し行っていきたい。(コロナ対策)また、毎日の健康調べも引き続き続行の予定。	A
	危険な個所がないか、危険な遊びをしていないか、常に注意している。	85	90	A		A
	地震などの自然災害に対する防災対策が整っている。	80	80	B		B
	万一事故やケガが発生した場合は、保護者に連絡をとり、医師にみてもらうなど適切な処置を行っている。	90	90	A		A
環境衛生の維持や子どもの体調把握に努めたり、定期的な健康診断・身体測定を行ったりして、子ども達の健康に配慮している。	90	95	A	A		
保護者への対応・啓発・情報発信	個々の子どもの様子は、保護者に直接話をしたり、電話・連絡帳などを使ったりして、相互に伝え合っている。	95	95	A	・園だより・クラスだより・個々の連絡ノート(園児用)で個々の様子は丁寧に知らせている。また、ホームページでの園児の様子(遊び)の写真を記載している。各クラスの遊びの様子や各行事の取り組みなど毎月発信している。文章だけでなく、写真で園の様子が解るので喜ばれている。 ・保護者からの相談は、教育相談の日を設けている。相談の希望者に誠意を持って対応し、保護者からの思いを丁寧に聞くことにより保護者が笑顔になって帰ってくることがうれしい。直接の面談はより相互の関係を高めることができる。 ・コロナ禍であり保護者同志の意思疎通の機会が乏しい。昨年同様の反省点である。	A
	学年・学級だよりを通して、クラスや子どものあらわれや成長、自分の考え方、保育のポイントなどを積極的に知らせている。	90	95	A		A
	保護者からの相談には、誠意を持って対応し自分の考えをきちんと話し保護者の話を心を聞いてよく聞くようにしている。	95	95	A		A
	差別をしたり、先入観をもったりすることなく、園の全ての保護者に対して親しみを込めた挨拶や会話、対応を心掛けている。	100	100	A		A
幼稚園の教育方針や教育活動等について、保護者にわかりやすく説明し、保育参観など子どもの様子を知らせる機会を設けました、子ども達の活動をお便りやHPで知らせている。	85	90	A	A		

(3) 改善策と令和5年度教育構想	学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"> ・園目標「元気に遊ぶ子」を中核にし、小学校就学までに身に付けたい力（幼児期の終わりまでに育って欲しい姿）として、 ア…健康な心と体 イ…自立心 ウ…協同性 エ…道徳性・規範意識の芽生え オ…社会生活との関わり カ…思考力の芽生え キ…自然との関わり・生命の尊重 ク…数量・図形・文字への関心・感覚 ケ…言葉による伝え合い コ…豊かな感性と表現 …10項目がある。各項目の要点をまとめると共に園での生活（遊び）の何が何を育てるのかをより解りやすい様に見直して令和5年度も取り組んでいきたい。（年少・年長の各学年での育ちを大切にし〔時に振り返る〕）次に繋げる努力をする。また、年中児がひとりも居ないので、年少児を引っ張りすぎない様に各学年の育ちを丁寧に見ていきたい。 ・少し成長の気になる子への対応は、園の園長・主幹・コーディネーター・担任がよく話し合い、色々な方向から捉え保護者ともよく話し合い、必要な場合には市の機関や医療機関なども積極的に利用していきたい。園内だけでなく保護者とも風通しのよい雰囲気の中でより良い支援を考えていかなければならない。（その子にとって一番生活しやすい学び場・成長できる所）就学に関しては、目先だけにとらわれずにその子にとって学びやすい環境と保護者の願いをよく聞いて思いを受けとめていきたい。 ・平成28年から始まった園舎裏の壁の工事であるが、いよいよ終盤となる。園舎隣の忠霊碑側の壁工事が主となるので、園庭の利用はほぼ無いが、大型の工事車両が入る時には、園児の安全面に十分に注意していきたい。また、2つの旧水道倉庫の撤去の時には、バリケードを用意して頂く。（R5/7月末全工事終了予定） ・「ヒヤリハット」と感じた事例や「安全な散歩」について紙面で書き残し、次への参考とする様に取り組んでいく様にする。 ・コロナが2類から5類に移行したことで、今まで制限していた保育活動が少しずつ元に戻ってくるのがうれしい。しかし、コロナ感染を甘くみてはいけないので、各報道や周囲の状況をよく見ていきたい。まずは、子ども達の安全が一番である。 ・令和5年を以って閉園となるので、創立から53年間の歴史をあたため、ひとりひとりの心に残る一年間にする様に努力をする。 	A

☆…令和4年度学校関係者意見

- ①…本年も、教育目標の「元気に遊ぶ子」…を目標に子どもに寄り添い、子どもひとりひとりに、丁寧な保育をしてくれているのが伝わってきました。
- ②…「コロナ禍」での保育は子どもと保護者を守る為に、とても大変であると思います。先生方もご苦労が多いと思いますが引き続き頑張ってください。
- ③…子ども達の就学先の小学校とよく情報の交流をしてくれていると思います。コロナ禍の折り、園児と児童の交流はなかなか困難ですが、園と小学校とが情報での交流を進めてくれることで、就学に不安がなくなります。（安心して就学ができます。）
- ④…この3年間、マスク着用や子ども達が大好きな夏祭りや餅つき大会などができずにいました。子ども達の生活習慣も変わりましたが、令和5年5月からコロナが5類に移行することで、各行事の幅や保育の幅が広がってくれることに期待します。

☆…学校関係者評価を受けて

- ①…本年も幼稚園（認定こども園伊久身幼稚園）に対し、良い評価を頂きうれしいです。「コロナ感染」がR5/5月から2類から5類に移行することで、状況をよく見ながら少しずつ今まで制限していた行事など復活させていきたいと考えます。
- ②…本年も認定こども園島田中央幼稚園・みどりこども園と交流をしてお互いの良さを出し合い幅広く豊かな経験をしていきたいです。また、子ども達の就学先の各小学校とも連携を作り安心して就学できるようにしていきたいと思います。
- ③…自然を取り入れた保育をする中で、生命の大切さ・物の大切さを繰り返し、引き続き教えていきたい。また、使った物を元の所に整えて返却する習慣と自分で作った物を大切にすることを付けていきたい。
- ④…保育教諭が日々の反省をしっかりとし、明日の保育を考え、これから生きていく子ども達と真剣に向き合い、心豊かな子どもに育てる様に努力をし取り組んでいきたい。また、クラスの中で問題が起きた時には、担任一人が問題を抱えない様に園の風通しの良い雰囲気の中で受けとめ考えていきたい。
- ⑤…保護者には子どもの良い所を伝え、子どもの自己肯定感を保育教諭と共に育てる様にする。どの子もかけがえのない存在であることを伝え、特に多忙すぎる保護者に対しては、おやこんぼの日などにおやこんぼの時間を大切にしてもらう様にする。
- ⑥…急な地震や火災やその他の防災訓練・不審者対策・交通安全指導など今まで同様に細部に渡り、訓練を重ねていきたい。訓練後の反省をしっかりと次への訓練に生かしていきたい。
- ⑦…「バス園児取り残し事件」や「園児虐待事件」など、県内で起きたことに衝撃を感じた。決して起こってはならない事である。保育教諭の質と責任の薄さが問われる。本園は、全職員が愛情あふれる責任感のある保育教諭である。しかし、それに甘んじることがない様に点検と反省は今まで以上に濃く行っていきたい。（安全管理の為の危機管理マニュアルをよく認知する。）

(付) 父母アンケートより意見・提言・要望

- ・伊久身幼稚園の先生方が、全園児のことをよく把握して下さり、園に行った時にはいつも声をかけて下さりうれしいです。子どもが生き生きとしています。
- ・コロナ禍の中で、夏祭りが復活し、少しでしたが夜店を子ども達が経験できたことや園庭の上空に打ち上げられた大きな花火を見たことは、最高の思い出となりました。私達、大人もうれしかったです。
- ・園舎裏の工事が長引き大変ですね。長年に渡り、畑が作れず心配していましたが、去年はジャガイモを作れてうれしかったです。
- ・令和5年を以って、伊久身幼稚園が閉園するという事は、とても寂しく悲しく辛いことですが、園児減少と北部4小学校統合ということで、やむ負えないことであると感じています。最後の一年を子ども達にとって、保護者にとって、応援して下さった地区の皆さんにとって思い出いっぱいの伊久身幼稚園となります様にと願います。